

役員会議の議事録

日時 平成23年12月4日(日) 午前10:00~12:00
場所 ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 (役員) 徳高、井篁、千秋、中村、小松、黄地、木村、石谷、
藤田、鬼頭、大和、公江、瀬戸、斎藤、岸本、松本
五十嵐
(傍聴者) 國司、中山

【 議 題 】

○報 告

- (1) ゆずりは会との「ゆずり葉まつり」反省会報告 (徳高会長より)
11月22日(火) 実施される
天候が不安定にも関わらず、大勢の方が参加され無事に終了する
- (2) 第2地区 自治会会長研修の実施 (徳高会長より)
10月1日(土) 実施される
まちづくり協議会と各自治会は共に必要であるのか、との意見もだされた
がお互いに重要な組織であり、併行して運営したほうがよいとの意見にま
とまった。
- (3) 第2地区 まちづくり協議会会長と自治会連合会役員
打ち合せ会 11月17日(木) 実施される (徳高会長より)
協議会と自治会連合会それぞれが、相互の道筋をたてていくことが大事で
あるとの意見に集約された。
- (4) まちづくり協議会会長会の実施 (井篁事務局長より)
11月30日(水) 実施される
井篁事務局長が徳高会長の代理で出席される。
当月の議題
①地域における防災の向上について
特に警察との関係では地域と緊密に連携するために、防災に関わること
については、積極的に警察に申し出てほしいとの事

②コミュニティビジネスについて

現在取り組んでいる2つのコミュニティからの発表があった。

コミュニティの中でNPO的なものを立ち上げ、収益をあげていくのも1つの方策として考えられるのではないかと。

今後規模に応じて収益が大きくなっていくことをどう考えていくのかが問題である等の意見が出された。

③町づくり円卓会議

新市長になってから創設された会議である

12月26日(月)第3回目の会議が予定されている

④宝塚ハーフマラソンの実施の件

12月23日(休)の予定

⑤その他

まちづくり協議会について組織上、運営上から問題点の指摘があったが20のまちづくり協議会が互いに話し合いによって、レベルを向上させていくのが目的であるとの趣旨を確認する。

(5) ゆずり葉だより66号(新春号1月1日付)発行について

12月25日(日)10:00~12:00 引き渡しの予定です

○議案

1、来年度コミュニティ3役人事について

まず徳高会長より健康上の理由から今年度で役員を辞任したい旨の申し出があり、役員一同申し出を聞きおくこととなった。

新3役が会長の意思を尊重、承継して選出されるよう全員でお互い考えを出し合い、必要に応じては個別に話をしていくことも行って、2月には具体的人事を提示できるように予定したいとのことです。

2、平成23年度予算執行について

市からの助成金の配分表はすでに出されているが、執行されている分が少なく、未執行分については、早急に申請してくださいとのことです。

3、逆瀬台1丁目1 市有地について

H23年8月に宝塚市役所の担当者等と面談して、以降3回交渉を重ねた。コミュニティ側からは、緑を増やせないか、道路からの入り口を狭められないか、スリップしないか、マンションを覗かれないか、その他の要望に対して、市側からは緑地の増加は努力する、南側道路の出入り

口の一本化は無理、店内のイトインは北側にする、スリップ防止への工事をす等、それぞれに対して回答をしてきており、新しいものではコンビニとドラッグを並行する案も出てきている状況である。

○ここで3役から交渉の過程において、3役に対して内容に関しての交渉する権限を与えてほしいとの要望がありました。

これに対しては、内容について色々と交渉する権利はいいが、決定する権利は地域の皆さんの意見を聞いたうえでなければいけないし、手続きも踏まなければいけないので、与えられないとの意見が多く、正式決定は役員会で議決することである事を再度確認した。交渉は3役で行いスピードが要求されるので、そのための情報を早く流し、早急に意見集約できる体制（例えばブログ等）作りが必要との意見もありました。徳高会長も早急に対応しますとの説明をされた。

4、（緊急提案）

逆瀬台5丁目支多々川変則5差路付近に停止線及びゼブラゾーンの設置の件

逆瀬台と青葉台両自治会長からの報告によれば、本件については、平成15年12月にゆずり葉コミュニティから提出された「まちづくり計画書」の中に入っており、市の方では予算措置もとられているのであとはゆずり葉コミュニティから正式に要望書を提出すれば、市の方では対応できることを確認した。

そこで、会長名で早急に手続きを進めることを全員了承した。